

久喜市下水道事業中期経営計画（経営戦略）の改定（案）に対する質問と回答について

NO.	分野・項目			質問・意見・提案など	意見に対する考え方・回答（案）
	章	ページ	項目等		
1	5	27	第5章 事業計画（主な取組） 2 施設の持続 （2）管渠の更新	管渠の更新における点検等の方法について、「カメラ調査や目視による」となっています。 点検・調査のマニュアルを作成、また、調査計画書を作成してすべての管を網羅的に実施することについて提案します。	調査の方法については、日本下水道協会の下水道維持管理指針により実施しております。 調査の対象については、現在、主要な管渠を対象に調査を行っておりますが、今後は、主要な管渠以外も含めたすべての管を対象とし、計画的に点検・調査を行ってまいります。
2	—	—	—	公共下水道管（溝）は、その他の埋設物との共用が可能と思われる。共同空間としての利用による相互利益が期待できる。特に市街地での合流から分離方式への転換を行う場合は、下水道管設備の開放を考える好機と思われる。少なくとも、その可能性を探って欲しい。たとえば、光ケーブルやその他通信線、電線などが考えられる。各種ケーブルや電柱などの地中化（あるいは移動配置）は、久喜市街地の景観と土地利用の改善に役立つかもしれない。また、郊外を含むCO ₂ や熱を大量に排出する施設から、それらを正の副産物として、農業園芸施設や家庭への供給を可能にする配管敷設に役立つ。今後は近隣地施設からの電力、ガスなどのエネルギー輸送も考えられる。排出あるいは供給施設（民間／公共施設）の事業機会と経営改善はもとより、各家庭や農家におけるエネルギー節約とCO ₂ 排出削減を同時に実現する。 もし久喜市に「開放」実績がすでにあれば、当該事業に対する事後的な評価、反省点、今後の改善策に関する市の見解を教えて欲しい。	国道の景観保全などを目的に、電気、ガス、上下水道などのライフラインをまとめて収容する共同溝の整備が行われておりますが、整備には膨大な費用がかかることから、久喜市では、共同溝の整備は予定しておりません。 また、久喜市において下水道事業が関係する共同溝の実績はありません。